

翰  
綿  
濃  
始  
信

番  
外  
書  
冊

和書門			
一八八九七	一七四	一	二
號	函	架	冊

內閣文庫			
一八八九七	一七四	一	二
號	冊	架	函

內閣文庫	
番號	和 18897
冊數	12 ( 8 )
函號	212 211

漫  
筆  
雜  
考



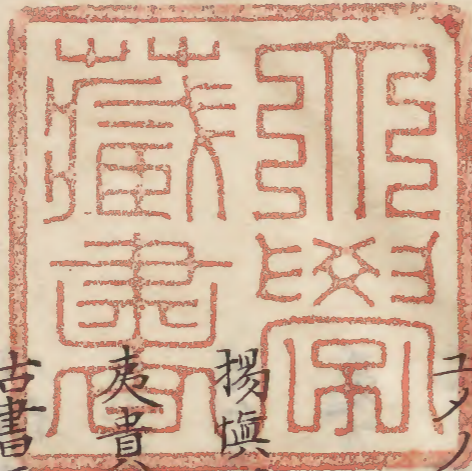
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak





子ノシロ卷之八

雑昏第八

淺草文庫

揚煥曰尚書首堯典舜典春秋首隱公世家首泰伯列傳首伯夷貴讓也トシカルニコレ偶然ノ讓ヲ貴ニテ此ノ如キニアラザルナリ古書ニ曲ヨリ先ナルハナニ春秋ノ起リイカニヲシラザレハ隱公ヨリ始マルモノハ魯ノ史記コノ時ヨリ委ニキナルベシ史記ノ世家吳ヨリ又ニキハナニ宋祀トイヘ凡ミナ武王ノ封スル処ナリ列傳モ亦シカリ伯夷ヨリ先ナルハナニ伊尹傳説ノ傳ヲ作ラバコレヲ始トスベシ伯夷ニ始マリ管老司馬孫伍コレニ次グミナ大タイ年次ヲ以テスルモノ晏莊申韓吳ハ同國同徳同姓等ノ因ヲ以テ附スルニ

ソノ餘ミナオノ類ナリニカルニ徳ヲ褒シ不徳ヲ貶シ大史公ノ次序  
ヲ前後シサテノ評ヲナストミナ誤ナリ孔子陳涉ノ世家ヲ始メ  
ミナツレクノ意ノ有ル処ハ大史公ノ自序ニテシルベシ遷モ亦大賢ニ  
アラズ大テイニミルベシ

樂正子春是ヲ破リテ孝ヲ忘レタルヲ憂フ甚シキニ似多シカルニ君子  
ハ精白紙ノゴトシ小人ハ紺紙ノ如シソノ余中人ハ黄アリ青アリ碧緑  
アリ赤紅アルガゴトキソノ白紙名ヤ一点ノ墨付名ハ精紙ニアラ  
ズ自カラ憂フベシ傍人モ亦コレヲ惜ミケガシタリトス君子ノ小過ヲ  
憂フルトカクノ如シ小人ノ紺紙ニ一点ノ白キアレバ此ヲカザリテ世  
ニモ珍ラシク思ヒテ人ニホコルソノ滿紙ニ墨ヲコホストイハ凡ツイニ

憂トセスホコレヲ見分ツトナシ或ハ青黄碧赤ノ紙ニ至リテハ  
小疵ヲウケテ憂フルトナク小白ヲウケテ誇ラズ少シニテモ濃ニ  
至レハ尚サラニ大疵ヲイトハズダシト吟キボドイヨク小患ヲオ  
ソルユヘニ君子ハ不正ノ色ヲ視ズ不正ノ言ヲ聽ズ不正ノヲヲ云ハズ  
不正ノ地ヲ踏ズシテ唯戦々競々トシテ薄氷ヲフムガゴトニ深淵  
ニ臨ムガ如クニシテ汚サレントスルヲ恐ル小人ノコレニ及スルヤ只人ヲ  
聖賢トミルユヘニ一点ノ疵アレバコレヲ非リ人ヨリ惠ヲ懷ヒ安ヲ懷  
ヒ我ニ向ヒテ少シク怨セザレバソノ人ヲ責メ唯モノ人ヲ君子トセント  
スサテ又已ヲ愚蒙ノ人トミルユヘニ大疵アリテモ人ノ正ヲ怒リ人ヲ  
惠マス人ヲ安ニセズ人ニ向テ怨スルトナク我マニシテ已ヲ小人

トセントス永戸黄門君曰主ハ無理云モノト思フベシ臣ハ行トカスモノト  
思フベシ云ニ我曰人ハ小人ト思フヘシ行トカスモ理ナリ人ハ盜賊ト思フベ  
シ盜マザレハ君子ナリ己ハ君子ト思フベシ盜ミタラハ賊ナリツ、シムベシ己ハ  
君子ト思フベシ行トカザレバ小人ナリツ、シムベシコレ行住坐臥ノ功夫  
息タラズシテツイニ樂正子春ノ域ニ至ラハ何ヲカ怨シ何ヲカ怒レシ  
史記ハ書ノ内歴書ナドノ妄誕之ベカラズ大史公ノ時ノ天学ハカ、ルモ  
ノナリソノ余五行陰陽鬼神術ニ涉ル書ルイ且医各ノルイ用エベカラ  
ザルトヲ、シミナコレ古書ノト云ヘソノマニテ措キテ論セスニテシカ  
ルベシ我神代ノ書モ亦シカリスベテ大部ノ書ハ煩雜多シ孟子曰盡信  
書不如無書トコノ語參ニ服膺シテ書ヲヨムベシシカリトイヘ凡初

学ヨリ疑ヲ抱キテ学ブベキニアラズダシト熟シテソノ智明カニナ  
リタラハ分ルベシ然リトイヘ凡史記ニ限ラズ班固ノ漢書ヨリシテ歴  
代ノ諸書凡五行災異ニカ、リタルハミナ杜撰妄說多シ蓋シ五行  
災異ト云異端ノ一流ノアリテ識緯ヲトリマセテ世ヲ惑ハス漢ノ寸大  
ニ行ナレ儒学ノ中ヘマシリヒテ天下公共ノ道トナリテ此ヲ断然ト攘  
斥スル人少シ人ニヨリ好不好ノ浅深アルノミニテ一向ニトリ上ザル学  
者ナシ程朱ニテモ少シヅ、ハコノ病アリ況マソノ他ヲヤ我邦ノ先輩  
トイヘ凡ミナシカリ今世ニテモコレヲ信ズ破ルモノハ中井ノ門ノミ世  
上人ミナ浅深ノ惑ヲ免カレズツイハ神佛ニ陷リテ救フベカラサル  
モアルニ云ヘニ古俗ノミニアラス医術ノ中ニ五行ヲ取ザルハ後藤山殿

吉谷ノ数流ノミソノ余ハ五行ニ泥マザルハナシ古聖賢ノ天ト云ハ多クハコレヲ慎ムノ方ヨリ出ル畏天ノルイ天譴ノルイコレナリ又古来ヨリ論ジタルヲナレバ何レノ論モ捨ザルガヨシト云長者温厚ノ論ニテコノ長者ノ惑ヒカタフシテ解ベカラズスベテ学者ノ内ニカ行ヲツトノ実学ノ人ハ五行災異ヲ事トセズ実ニ疾病ヲ治スル医ハ亦五行ニ泥マス実ニ日月星辰ヲ推歩スル天学者ハ亦五行災異ニ惑ハザルナリミナ浅学ニシテソノ実地ヲ知ザルスノヲナリミナコレ小人儒ノアヤマリニ為ノ字タメトヨムトハ少シタメハ去声ニ為人為已為君為父ノルイノミナリユヘニ四書ノ註ミナタメト云寸ハ去声トスルナスナルヲサハル等ノトキハミナ平声ニシテ本音ナリユヘニ音註ナシ為<sub>レ</sub><sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>ト云中ハ

所ノ字ニラルノ意ナシ

又記ニ此為アリテ下ニ所ナキアリコレハ去声

ニト云ハ去声ニ殺サルト云ナリ

ミナ平声ナリシカレバ為<sub>レ</sub><sub>レ</sub>所<sub>レ</sub>トハヨムベカラズシカルニ我邦カクヨミ来レリコノトニ心付タルハ我中井氏ノ門ノミコノ始ハ十八史略ノ音註ニ去声トセシヨリ来ルナラニ大日本史此誤ヲオソヒテ為<sub>レ</sub><sub>レ</sub>見<sub>レ</sub>ト云<sub>レ</sub>多<sub>シ</sub>所<sub>レ</sub>見<sub>レ</sub>ノ差ヒ大ニアヤマレリ為<sub>レ</sub>平声ニヨメハ所<sub>レ</sub>ト云<sub>レ</sub>ロトヨミテ<sub>レ</sub>ナルトヨマズ見ハラルノ外ヨムベカラス孟子ニ益成捨見殺ハ上ニ為ノ字ナシ漢文ニ為ノ字上ニアレバ下ニ所ノ字アリ見ヲ用ヒタル例ナシ又上ニ為ノ字ヲオキテ誰ノ為ニ殺サルトヨムトキハ誰ニ殺サルト云<sub>レ</sub>ニナルシカレ氏為ノ字知文ニニアタルヲナシ君ガ多誰ガタメニトノミニテ決シテテ所ニ用ヒザルナリ漢ニテハ音ニテヨミ下スユヘ日本ノ臣ヲツケテカヘリヨミニニスルトハ大ニ異ナリカ<sub>レ</sub>ル<sub>レ</sub>心

得タカヒ多シ

トモニ晋魯  
世説蒙求ハミナ  
アリテ歴史及ヒ  
説ヲ用ユ

蒙求ノ鮑靚記中羊祐識環ノ語及ヒソノ余妄説多シスベテ蒙求  
世説ノルイハ俗書ニシテ儒書ニアラズ野乘阜説ヲ采テ多シ大テ  
イ佛法中国ニ入ル後ノ書ハカ、ル俗説多シ堯舜孔孟ノ道ヲ述  
タル書コソ儒書ト云ベシシカルニ我邦ニテハ四角ナル字ノ各冊ハミナ  
儒書トヲモヘリ中古文書行ハレシ寸モ詩文歴史ヲ主トシソノ餘  
俗書ヲヨミテ四角五經ヲ熟讀シ名人少シユニ勸学院ノ雀モ  
論語ヲサヘツラズシテ蒙求ヲサヘツルヲシムヘキカナ大テイコ時  
分ノ學者ハミナコノ雀ノ師ナリ、  
アル時宴集ニ對テ終ズ曰吉凶ハ善惡表裏上下得失損益君子小人ヨ

リツイニ利害ニ至ル先生曰コレマテノ對ハミナシカリトイヘ凡利害ヲ  
以テ對トスベカテズ諸賢コノ心ユヘツ子ニ行ヒヲ汚ス一多シ利ノ對ハ  
義ナリ利ヲ見レバ義ヲ見ルニ暇マアラズユニ利義ヲ以テ對トスベシ  
孔子見得思義ト云孟子何必曰利亦有仁義而已ト云得ヲミル利  
ナリコノ時義ヲ思ハサレバ利ニクヲマサルベシ仁義トイハズシテ利  
ト云寸ハ亦利ニナヅムナリユニ利ノ對ハ義ナルベシ利害ヲ以テ對ト  
スル人ハツ子ニ害ヲサケテ利ニ走ルナリスベテ利ノ字已ニ用ユレバ凶ナ  
リ人ニ用ユレバ吉ナリコレヲ味フベシト  
孟子ハ仁智兼ソナヘ加フルニ雄辨即智其天資ヲナス天下ヲ救フ  
ニ及ミタルモノハ賢者ノツ子ナリトイヘ凡知辨ナクシテ行ハルベカ

ラズ孟子ノ齊梁ノ君ニ對フル最其ケマケキモノナリ梁王何ヲ以テ  
カ我國ヲ利セント云トキ先ソノ利ト云一言ヲヲトリニシテ付入り何  
必曰利亦有仁義而已ト云出シテ利ヲ抑ヘテ仁義ヲアゲソノ仁義  
ナラサレハ國家亂レテ治ルベカラズト列國ヲ朝セシメ天下ニ王タルベ  
キノ法ヲ去ア、雄辨ナルカナ利ハ己ノ方世ノ害ニシテ仁義ハ方世ノ  
利ナリ又齊王ニ對フルニミナソノ約ヲイル、一牖ヨリシテソノ欲ヲ付  
入テ説出ストイヘ尺蘊張霸術ノ論ト曰ラ同フシテ語ルベカラズ  
即坐ノ尚答トイヘ尺尺ヲ柱ズシテ尋ヲ直クス知辨兼備ト云ヘ  
シ林羅山子ハ博學天才我朝ノ大儒ニシテ  
神君ニ賈童セラルソレヨリ 台献ニ大君ニ用ヒラル陰見録

二曰正保二年正月十九夜大君ニ侍講ス園田終州問テ曰狂言  
ノ中ニ蓬来ノ島ナリ鬼ノ持タル宝ハカクシ籠カクシ籠打出ノ小櫃  
シヨクムシヨト云フアリ此シヨシヨムシヨト云フハイカン羅  
山子曰右ツシクハ宝ノ中ニテモ上ニシテ又コノ上ニ上ナルナリト  
云意ニテ上ニ無上ト云也ト内田信州問テ曰鎌倉ニツケニ堂ト云  
アリ昔金園納言コ、ニキタリテコノ勝景ヲウツサントスルニ筆ニ  
ツクシ雄クシテ筆ヲステ、ノツケニナリタルエニ捨筆松トテ今ニア  
リト云イカン羅山子曰金園ノ筆ヲステ、ノツケニナリタルニアラ  
ズ彼堂ハ金澤ヨリ出ル山ゴヘノ坂ノ右ノ高キ処ニアリ坂ヨリアヲギミ  
ルエニ仰見堂ト云ト坂田加州問テ曰小兒ノ遊ビニ左右ノ手ヲヨセテ

鬼ノ血ト云フラスルニ其辞ニ云タイドノクタイカムスノ梶原アノ  
ウジノクラガ杖ヲツイテ通ル処ヲサラバヨツテツイノケト云フアリイ  
カニ羅山子曰コレハ鎌倉ノトキ頼朝ノ意ニカナヒ出頭威勢ノ強カ  
リシ人ニヲカヅヘタルナリ先<sup>コト</sup>タヒ<sup>ト</sup>ノトハ御臺改子ナリ一モタイドノ  
ニモ多ドトツギ名ハアラベニベキ人ナキヲ云タイガ女ハ頼朝ノ大姫君ニ侍  
水ノ冠者ノ夫人電愛ノ女ナリ次ニ梶原ハ平三景時ナリコレ亦出頭  
ノ人ナリアノウジトハ安明寺トテ時政ノ妻牧ノ方族ニテ七月人トナリ  
テツ子ニ侍シテ威勢アリユヘニ殿中ニテ杖ヲツキ歩行安明寺時ニ行逢  
フモノハカタヨリテ通セシユヘニカクハ云ナリトソレヨリダシクノ向答  
アレハ滞リナカリケレバ 大君羅山子ノ博識ニ感シ玉フト云コ

レホド博識ノ人ナルニアル寸 大君先生ニ向テ曰聖人ノ道イカニセ  
バ行レシヤ 羅山子曰今世ノ人々マスク行フヲ得ベカラズト  
大君コレヨリ僧沢庵ニ就テ禪ヲ学フ儒者コレヲキ、羅山ニ切齒  
スト間際筆記ニ出タリ先生ニシテ孟子ノ辨アリテ 大君ヲ感發  
セシメバ聖人ノ道興ルベキニ惜ムベキカナ 禪ヲ学ヒ玉フヤ元ヨリ天  
資ノ 大君ナレバ舟梁ノ君ト同日ノ論ニアラス又隆盛ノ時ナレバ  
羅山ニ学ビテ学ヲ興シ玉ハ、天下文明トナルベシ羅山タトイ但  
語ニ得テコノ對ニ失フ其魏、然タルモノヲ見ルナルカラシムベシ履軒  
先生曰猷立ノデキザル料理人ニ俄ニ盛饌ヲ命シテマナ箸ヲ予ヘタ  
ル寸ハ羅山子ハ逃ルベシコノ料理ハ博識完辨ニテハ出来ザルベキニ



止宣ナルカナ唯ソノ天下ヲ救フニ汲ミタル人トシカラザル人トノ虚実  
ノミ

アル人程子ニ問テ曰公モ亦術アリヤ答曰吾飢レバ食ヒ渴スレバ飲ミ  
夏ハ葛シ冬ニ裘ス其外ニ術ナシト又仙術ヲ問答曰養生ヲヨクシ  
気ヲマシナヒ百年ノ壽ヲ得ルトハアリ五百年ノ壽ヲ得トハ  
ナシ又白日ニ飛行シ或ハ隠見スルトハナシトトヘバ爐中ノ火ノヨク  
タクハヘケバ一昼夜ハモツベシ顯ワシラケバ二三刻ニキユルガ如  
シトコレヲ以テミルベシ人間大テイニ定マリタル外ハナキコラシルベシ  
八九十百歳ニ及ブ人ハ炉中ノ火ノヨクタクハヘケガ如シ四五十歳ニ  
テ死スル人ハアラハシラクガ如シ二三十歳マテニ死スル人ハアシ

キ消炭ノ火ノ如シソノ外諸各ニ生ル陰陽不思議ノイハミナ  
妄説トシルベシ第一ニ山海経列仙傳ヲハシノ前章ニモ論ズル如ク  
聖賢ノ各論ナラデハミナ神社佛者附會妄説ノ書ナリ必スシモ  
證トスベカラズ程子ノ言ヲ以テヨク味ヒ決シテ怪各ニ泥ムベカ  
ラズ

スベテ学者タルモノ漢土ノノミヲモテアソヒテ我国ノノヲ疎ニス  
ユヘニ地名官名姓氏ノルイ国法ヲ用ヒスシテ漢法ヲ用ユルト多シ  
本ヨリ我國ハ自ラ称シテ豊芦原中国又千五百秋瑞穂國浦安  
ノ國秋津洲ト云後改メテ日本國ト云コレ我邦ノ本名ナリソノ倭  
ト云モノハ漢土ヨリシテ誤リ各付ル処ナリ東海姫氏國ハ僧宝誌

ノ去処ナリ扶桑国ノハ前篇論ズ大倭大和<sup>ノ</sup>日本ノ三名ミナマ  
ト、訓ズコレハ代々大和ノ国ニ都アリシユヘソノ国ノ名ヲ天下ノ總  
名トシタルナリソノ本ハ山迹山戸山止ナドノ故流アレトモイカニヲ  
シラス野馬臺ノ字ハ万葉假字<sup>カナ</sup>ノゴトシ漢土ニテ入タル文字ナ  
リ大倭ハ漢土ヨリ大倭小倭ト云又我邦ヲ倭ノ字ニ大ヲソヘタル意  
モアルハ大和ハ音同シキユヘ易ヘタルナリ日本ヲヤマト、ヨムハ我邦  
ニテ訓ジタルナリシカレ<sup>ル</sup>今ニテハ日本ト云大和ノ国ト云ハ今名ニ  
ナリタリ其外外国ヨリ付ラレタル名ヲ用ユルコト惜ギコトニアラズ  
ヤ江戸学者多ク我東方ト称スルコト<sup>ハ</sup>浅ハカナルコトナリ天下ノ人ミナ  
我国ヲ中トス自ラ東方トスルコト何ノ云ゾヤ桓武山城ノ都ヲハジ

メ平安城ト号ス佳名ニアラズヤ後世右京ヲ長安トシ左京ヲ  
洛陽トスルモノハ漢土ノ長安ヲ西都トシ洛陽ヲ東都トスル比  
シテ号スルコトニシテ漢ノ文物ヲ慕ヒ真似<sup>マコト</sup>ヲスルトテモアマリ拙キ  
コトニアラズヤ然レバ不當ノ名ナリシカルニ近世右京ハ衰ヘ野トナ  
リテ左京バカリヲ京トスレバ洛陽ノ名ノミ残レリユヘ今ハ洛陽總  
名トナリテ華洛ト云洛中洛外上洛入洛ト云ナラハシタレバ今サラ  
殆ムベキニアラズ諸国ニ州ノ字ヲ添テ漢土ニ似セントスシカルニ日  
本ニ元ヨリ州名ナシ日向ノ国ト云 国芦北ノ國伊與ノ國筑紫  
ノ國ナドニ神八洲ノウミ四国九国ヲ生ムト云寸ニミナ名アリ  
テ一字二字三字モアリ<sup>ハ</sup>洛路ナドニハ洲ト云シカレ<sup>ル</sup>コレラニナ文

日本紀ノ州ノ字ハ島  
心ナリ大八洲ト云テ  
大八国トイハズ大小  
ノ差別ナクニテ八洲  
トス洲ハ今云スナリ  
島ノイナリ別ニアラズ

字渡リテ後ノ一ナリ曰事紀國造本紀延喜或神名帳ニ州ノ字ナ  
シ中古ヨリ皆二字ニ定メラレタリ然ルニ漢土ニ相當スレバ今ノ日本ノ國  
名ハ州ニアタルナリ然レ氏漢土ノ州モ古今ノ違アリ竟ノ時ニ舜ノ定メ  
ラレシム十二州ナリ肇トアレバコノ時ニ始マルナルベシ舜ノトキニ高水ヲ  
治メテ九州トスコノ時ハ四岳アリテ四方ヲ掌ル又十二牧ト云ハ一州ヲツ  
カサドルナリコレヲ以テミレバコノ時マデハ郡縣ノヤウナリ又象ヲ有  
庫ニ封スヤド堯ハ元ト唐侯ナクシヲミレバ諸侯ナキニモアラス諸侯  
ノ有ツ処ノ地大小ヲカ子テミナ國ト云陽ハ七十里ニ興リ文王六百里ヨ  
リ興ルノ類又八百ノ諸侯ヲ以テミルベシ春秋ノ經ニ出ルモノ百八十  
國ミナ諸侯ノ有ツ処ヲ大小ニカギラス一國ト云戰國ニナリテ七國

今日本ノ郡ハ今ノ  
漢土ノ縣ノ如シ

古ノ州ハ大ナリ後世ノ  
州ハ小ナリツイニ四百  
余州ト云今ハ省ノ  
下ニ府アリ府ノ下ニ州  
アリ州ノ下ニ縣アリ

トナリタルナリ蓋古ハ一州ハ大割ニシテ一州ノ内ニ諸侯ノ國百バ  
カリモアルナリ今ノ漢土ノ十五省ノ如シ十五州ト同意ナリ日本モ  
漢ニ比スレハ六十六州ト云テ諸侯ノ國ヲ三百余トシテミレハ大國ハ  
一州ヲ有シ二州三州ヲ有シ小國ハ一州ヲ三國五國トス州ノ下ニ郡ア  
リテ郡ノ下ニ郷ト云莊ト云タレ氏今ハ郷莊ノ名ハ或ハアリ或ハナシ木  
ヨリ縣ハ用ヒザルナリ漢土ハ十二州九州ノ後ハ三代ノ末春秋戰國ニ  
至リテ諸侯ノ國各ヲ以テ称スルニ州ハ虛位ノヤウニアリテ用ヒザ  
レ氏名ヒビタルニモアラス秦天下ヲ併セテ國ヲタテズ郡縣トス天下  
ヲ三下六郡トシテソノ下ニ縣アリシナルニ州名コノ間ニ存ス漢ハ州ニ刺  
史アリ郡ニ守アリ世ニヨリテ大ヲソヘテ太守トスレ氏本名ニアラス後ニ

刺史ヲ重シテ牧ト云コレ舜ノ十二牧ニ比スルナリ唐宋ハ大テイ州ノ  
名ヲケツリテ天下郡守縣令ニテスムトアリソノ郡ヲ州トスレバ必ス守  
ヲアラタメテ刺史ト称ス名ハカハリテ事任ハカハルトナシ州ニテモ郡  
ニテモ縣ハソノ下ナリテ数多シ州郡ニスベラル、ナリ並ブモノニアラス  
漢六州郡ノ間諸侯ヲ封スレバ国ト云テ州郡ト云テ州郡ト云テ州郡ト云テ四  
百余州ナド云ヤウニナル當世ハ一省ノ下ニ州アリ州ノ下ニ縣アリ郡ナシ我  
邦中世漢土ノ文物ヲシタヒ諸制度多ク彼土ノ制ヲ用ヒラル、ト多ク六  
十六国ノ古ヨリアル处ニシテソノマ、ノ数ヲ用ヒ文字ヲ二字ニ定メテ好  
字ニ改ラルコノ時ハ郡縣ノ制ナリ我ノ国ト云ハ彼ノ州ノ如シ近世封建  
ニナリテモソノ名改マルトナシユヘニ今ニテハスマス、ト云ナリ日本ニ国

ノ字元来封邑ノ意ナシクニ和訓ハ天古天ニ對ス天ノ常立ノ神國  
ノ常立ノ神天ツ神國ツ神ニテミレバ國ハ土ナリ地ナリクニノ  
和訓ハ國ノ字ヲ入タナリ土地ノ字ニスレバ天ニ對シテ當ルトイヘ氏又  
一國ヲモクニトイヘバ州ノ字ニモアタルナリスベテ漢字ヲ和訓ニアタ  
ルハ此字ニカギラス禽獸草木ノ名ニテモ器物言語ノ名ニテモ當ラ  
ヌト多シ櫻ト海棠トニテモミルベシコレヲ以テミレバ漢法ニ改ムル  
モノナレバ國トイハズシテ州ト云テ當ルニシカレ氏今日本國名ハ二字  
ニテ略シテ云ヘバソノ一字ヲトリテ州ノ字ヲ付ルナリ國制ニモトリテ  
式正ノ書ニハ用ユベカラサレ氏詩文ナドハ誤ニアラス又州ノ字ノ  
处へ陽ノ字ヲ用ユルハ大ニアヤマレリ漢土ノ地名ハ山北ヲ陰トシ山南

ヲ陽トシ水北ヲ陽トシ水南ヲ陰トシテミナソノ山水ノ陰陽ニアリ  
テ其名正シキニシカルニ学者イタヅラニ漢人ニ似セニガ為ニ国各地  
名ノ首ヲ字ニ陽ノ字ヲ加ヘテ得タリトス大宰氏ノ信陽ナドハ當ラザ  
ルナリ陰陽ハ山水ニカギル国各地名ニ陽ヲツクルフアルベカラズ大抵ノ  
書ニ撰陽武陽崎陽ナドニスルフ大キナルヒガフナリ而メツイニ陰  
ノ字ヲカキタルヲミザルナリ竹山先生文集ヲ漢陰集ト云ハ漢水ノ  
南ニ居ヲ以テニコレコレヲ得タリトスベシ其他ノ学者唯瓜雅ニシ  
漢ニ擬セニガタメニウガチモトメテ書トイヘ凡漢瓜ニモアタラサ  
レハ尚サラニ辱ベキフナラスヤスノ姓  
国ノ礼ニ片<sup>カクミヤツジ</sup>名字ト云フアリテ二字三字姓ノ一字ヲカキテ敬トスル

モアレバコレハ咎ムベキニアラザレ凡自カラ一字ヲ以テ云フハアルマシキナリ  
物茂卿片<sup>カクミヤツジ</sup>歟ナドノ類トリ式正ノ一ニハ尚以テナキフナリ藤原氏支  
流追ニ地名ニ藤ヲ加ヘテ加藤進藤ト云ルイハ姓ヲ給ハル或ハ別号  
ヲ立ルノ代リナリ官名ニテハ相国宰相ナドハ本名ニアラズ京師ニ  
テ參議ノ任ヲ武家ニテ宰相トス納言ハ辨典ニ出テ雅名ナルヲ却テ雅  
ニセンガ為ニ黄門ト云ロラシキフニ相国黄門宰相ノ廣名ハ京師  
ニテハ實用ナシ任官ノトキノ宣命位記ニテキフニスベテ学文ヲス  
ルニハ忠孝仁義ノ道身ヲ裕メ国天下ヲ治ルノフニハ聖人ノ道ヲ学ビ  
テ行フベシ漢土ノ書ナラテハ聖賢ノ善行嘉言ヲ学ブフナシソノ余  
ノ制度文物ハ漢土ノミ宜キニアラズ日本ハ日本ノ制度瓜俗アレバ

他国ノ後ヲ用ヒテ我邦 法度ヲ犯スコトハアルマシキコトナリ只文ニ  
ノゾミテ凡雅<sup>カ</sup>ニセシカ為又ハ我国法凡俗ヲ鄙シキトシテ無理ニ漢  
土ヘ引付ントスルコトハ学者通病ナリ 然レバ古ヘ我邦文化イマダ用  
ケザルノトキニアリテ凡俗野鄙甚シ故ニ中古唐ヲ移シテコレヲ学  
ブ宮室衣服官職郡縣ノ制マデマナバザルコトナシサテソノ後ノ凡  
俗ト云モノハ大テイ学ヒ得タル凡俗ニソノ學ビタルニモアマリア  
リ又故俗ノ残りタルモアリ下ニ在テ心アルモノ制度ヲ正スコトアタハ  
ズ凡俗ヲ草ムルコトカナハズセメテ文詞ノ簡ニテナリトモアマリアリ引  
直シ鄙陋ヲ免レントスルモ亦惡ムベキニモアラズシカレバソノ中ニ  
漢ニモ合ス 國法ニモ背クハ憎ムベキナリ 本ヨリ文章少キ國ナレバ

カ、ル文辞ノコトニ制禁國法ミナシマシテ武家トナリテヨリ唐ヲ移  
シタル凡俗モ亦一轉シタリ今ハ今ノ凡俗ナリコレ又我邦ヘヌキノ凡俗  
ト思フベカラス文雅少シナリ凡カノ及ブダケハタメナラシタタ思フ  
モ無理ニアラサレバソノ中ニ是アリ非アリ美ニ懲リテ雍<sup>ニ</sup>ヲ吹ハ亦学  
カノ及バサル処カ

古ヘハ諸侯 ナリユヘニ九州十二列ナド、云テ列ハ大ニシテ列  
ノ下ニ国多クアリ後ハ諸侯相併吞シテ国大ニナリテ列ハ小  
トナリ國々ニ別アリ秦天下ヲ三十六郡トセシヨリ州國郡縣ノ  
名紛擾ス

常ニ馴ル、言ヲイヤシニ珍シキ語ヲ貴フハ亦古今ノ通情ナリ雅

ハ常ナリ鴉ハツ子ニ見ナレタル鳥ニハ常ノ義アリ雅鴉ノ字通用  
ス常ニ行フニヨリテ雅ト云フニテ雅ハ常行ノナリユヘニ平生ノ凡  
俗ノナリノベ名詩ヲヨセタル雅ト云シカルニコレヨリコノ字ノ位々  
ツトクナリテ却テ常ニアラザル高古典正凡流ノ義ニ凡雅ト云テ  
凡庸平常鄙俗ノ及對トナリ多ク後世ニテモ殿様ノ字又ハ貴公  
ノ字恐惶安全安泰勇健堅固無事ノルイ御意ノ字黍辱冥  
加、難有、ノルイミナク用ヒ方違ヒ多ク其外アゲテ計フベカラズ何  
レニモナレタルハ賤クナリテ珍ラシキハ貴トクナルト世ノアリサミ  
始メ湯ヨリ上リテ湯殿ノ板間ヘシキタル布ヲ凡呂鋪ト云テソノ上  
ニ居テ身体ヲフクモノナリコレヲ無用ノ寸ハ手拭カケト一所ニ

カケヲキシニ物ヲツ、ミテ出入スルニ幸ニコス凡呂鋪ヲ用  
ヒニヨリ物ヲツ、ムモノヲ凡呂鋪ト云テ縮帛ヲ用ヒ棕色ヲナスソノ  
後ハ凡呂場ニシタモノヲ別ニ湯ノ字ヲソヘテ湯凡呂鋪ト云ヤウニナ  
リタリスベテ言語ノ変異スルコノルイナリ兵ハ鎗刀ノルイノ名ニシ  
テソレヲ用エル人ユヘニ軍卒ヲツイニ兵ト云フニナル物ノ部ハ字ナ  
志<sup>シ</sup>志<sup>マ</sup>志<sup>ジ</sup>ノ余ノ末裔ニ賜ハリ名<sup>シ</sup>姓<sup>ハ</sup>ノリコノ氏ノ人代<sup>ハ</sup>武事ヲツカサ  
ドルヨリ官名トナリ後ハ武士ヲサシテモノノフト云寸ハヨボロト訓ズ  
人天ノコナリ仕丁駕輿丁ノルイハ庖ハクリヤニテ肉ヲク処ナリソ  
ノ役人ヲ庖丁ト云コノト<sup>ハ</sup>莊子ニ出タレバ古キトナリ後ニツイニ肉ヲサク  
カ<sup>ラ</sup>庖丁トシテ刀ノ總名トナルソノ外カクノ如ク正シユケバ際限ア

ルベカラズユヘニ略ス

六国史及ヒソノ他古記傳ノルイハ其時ノ人情クハシク見ガタシ後世  
假字ノ諸記ハ委シキユヘニ人情瓜俗ハヨク見ユレ尺杜撰虚偽多シ平  
家物語東鑑太平記ノルイハ古書ナレ尺釋官小説多ク野史ニ怪  
稗多シ宇治大納言ノ今昔物語ハ陰陽家ノ虚妄神佛ノ奇駭鬼  
怪ノト多ク宇治拾遺ハ又ソレヨリモ劣ルコノ人往来ノ人マデモ苗ノ  
テ書シルカレシト諸人ノモテハヤスフナリコフ各ヲカクモテハヤスニテ  
ミレバ當世学者ナキヲシルベシ奈良ノ時ヨリ寛平延喜ノ頃マテ  
ハ才物多シソレヨリ以降ニテハコノ書アリコノ各ヲ以テソノ人ヲ知ル  
ベシ鄙ナルカナ中世ニ好書ナシ室町日記ハ実事多キガ如シ忠家日

記落穂集老人雜話ノルイハミナ実ナリ只コレラハ日記ニテ書アツ  
ノタルマ、ナリ戦国ヨリ織田豊臣ノ時代 御當家国初ノ君臣  
ノ美言德行ヨリ其時代ノ雜沓ヲヨミテ神君ヨリ御三代ノ向ノ御  
賢徳名臣ノ行迹時世ノ變 諸家諸士ノヨツテ起ル処ヲヨク聞  
見シテ終ニ百年ノ升平ノ間ニ華奢ニウツリ輕薄ニ易リタルヤウ  
スラツラク考ヘテソノ身ヲ儉束シ国家治益ヲ得ルモノナラハ當時ノ瓜  
俗ニ泥マサルベシ国初ヨリノ大儒惺窩羅山ノ兩先生ヲハシメ貝原  
熊沢石川室ノ諸先生ノ書ハヨミテ益アルベシ但徠春臺ナドノ書ハヨ  
ムベカラズ毒多シ大抵学ニ志スモノハ四書五經ヲハシメ宋ノ諸賢ノ  
註解ヲ熟讀シ議論ノ書ヲ會得シタル上ハ和書ヲヨミテ善行得



夫ヲ考人実行ニラヒテハ邦俗ノ目前ニカニガミテ德行ノ君子ニ切向  
シ身ニカヘリテ近思スベシ漢土ノ書ヲヨミテ我邦ノ故実ヲミラズ何  
事モミナ漢へ引付ントスルハ儒家者流トナリテ一藝ノ士ナリ邦國  
ノ罪人トナリテ今日ノ实用ニモトル又和学ノミヲナシテ漢学ヲミラズ  
本居氏ノ如ク聖賢仁義ノ道ヲソシリ神代ノ奇妙不測へ引付ントスル  
ハ神道者流トナリテ異僻ノ士ナリ聖人ノ罪人トナリテ五常ノ道ニモト  
ル狂ナラサレハ猶ナリヒロク學ニテ礼ニ約ス中行ノ君子ハ少キモノ  
小道ト垂斥ソシクニ見ルベキトハアルモノナリ必シモ泥ムベカラス

和名抄江家次第ハミルベキ書ナリ南朝ノ忠臣北畠准后ノ神皇  
正統記元ニ集職原抄ノルイアリコノ人乱世ノ学者ナリソノ後ハ一

条禪問ナレ凡ミナ佛ニ迷ヒ神代ノ泥ニヨヒテ正學ニアラズ  
原義公ノ日本史ヨリソノ他人著述ハミナ見ルベシ新井氏ノ諸  
記ハ真偽相辨ス心得ヲヨムベシニカレ凡 戦國已未ノ記事諸  
家ノ真ニラシルスハ新井氏ノ著述モツトモ功アリ  
周ノ世ニヨミタル書ハ今アル処ノ虞夏高ノ書ニテミナ書經ノ内ニテ  
リ孔子ノ時ニ學問トイヘバコレラノ類ニ易詩ナラシ周禮儀礼アレ凡  
今ノ二礼ハ周公ノ作ニアラサルベシソノ餘礼記ノ内ニ少シツ、散出  
スルモアリ樂書ト云モノアレ凡 今ハ七ブソノ他ニアリシハミラズ古へ  
六經ノ各ナシ易書詩礼樂春秋ヲ六經トスルハ孔子以後ノナリ  
漢以後論語孝經ヲ加ヘ樂ヲ除キ七經トス諸子ノ書ヲヒクニ出

ルイハユル管子老子莊子申子韓子揚子墨子列子荀子董子  
 淮南子等アリ兵書ニ毛孫吳司馬アリトイヘ凡諸子ノルイ讀マズト  
 モスムベシ但徠子孟子ヲ刺リテ諸子ノ中ニトノ、シルトイヘ凡ソノ  
 書ヲヨミテソノ諸子ニ委セズシテ卓越ナル処ヲシルベシ唐ニ九經ト  
 云ハ礼詩易昏周礼儀礼春秋ノ三傳ヲ加フ宋ニ詩書易周礼  
 礼記春秋ヲ六經トシ孟子ヲ加ヘテ七經トス又論語孝經ヲ加ヘ  
 テ九經トスソレヨリ邢昺<sup>イハ</sup>疏ヲツクリ易書詩周礼儀礼礼記左氏  
 傳公羊傳穀梁傳論語孟子孝經再雅ヲ十三經トス朱子易詩  
 書春秋礼記ヲ五經トシ礼記ノ中ヨリ大学中庸ヲ除キ出シ論  
 孟ニナラベテ四書トス明ニ五經四書ノ大全ヲツクリ性理大全トシ天

全トス孟子ハ諸子ノ類ニアラス学庸ハ礼記ノ類ニアラスユヘニ朱子  
 論語ニナラベテ四書トシテ学者ニヲシユコレヨリ学問ノエマツ四書  
 五經ヲ懸讀スルコトナル歴史ハ尤傳國語ヲ始メ二十一史アリヨミ  
 ツクスベカラス初学ノ士先<sup>ニ</sup>己ヲ脩メ家國ヲ治サムルノ書ヲ專ラト  
 シソノ上ニコソ諸書ヲヨムベシユヘニ知レタルコトナガラコ、ニ丁寧ヲ  
 ノコヲ云

老子ノ昏ハ古書ナリト貴ビ又ソノ文中ニ名言多ク史记ニ孔子礼  
 ヲ老子ニ問トアレハ孔子ノ師ナリトシ又漢ノ魯參<sup>ク</sup>コノ道ヲ尊トシ  
 文帝及後世ノ天子多ク尊敬シツイニ帝号ヲ溢リテ孔子ヨリ上  
 ニ位ビシムルコトナリ 伊藤蘭焔子曰老聃古者実無其人蓋莊周

所刻高名将已一家言為之尸為之主自為祝嘏以告神語也矣  
亦猶項梁立楚懷王孫心以收人心者天何以知之乎昔者孔子  
列序古之聖賢觀論洛而當見焉堯舜禹湯文武周公三仁夷存  
不帝管仲曰仁也曰如其仁與晏平仲善與久交曰功用之臣也國  
僑展禽少連臧文仲史魚蘧伯玉荷蕢楚狂長沮桀溺執干餘  
缺丘明老彭皆舉誦之甚哉夫子之欽慕古昔聖賢君子不遺一  
時之聞人時士夫如此也若實有老聃云者不列諸隱居放言內  
必與以秋叩經同科祛之而無一言之謂老聃無一語之涉李耳  
此實無其人之証也孟子拒揚墨告子於陵仲子許行夷之亦痛  
拒之而元一辭之議老聃無一言之非李耳此亦實無其人之証也

荀子所非者十二子老聃不與焉是亦實無其人之証也而其天  
論曰慎子有見於後無見於前老子有見於屈無見於信老子蓋  
田子之誤耳非十二子連曰慎到田駢亦叙於慎子之後宋子之前  
故知其老田字相誤也史遷輒信漆園之史之寓言為守其傳為  
姓李名耳為周柱下更為孔子問禮凡五千言之書為出閔時授尹  
喜之者蓋皆妄也再予獨何人耶非敢好奇誇異妄為此說焉  
然則今所傳老子之書何人之所成耶蓋戰國末接秦聖歎否  
塞故人或襲莊子之意并剽竊其語以作老列二書而播諸後  
也下畧蘭喁子初テコレヲ云才臧氏コレヲ張子カ老子是正ノ序ニ  
述ル古今未発ノ言ニアラスヤ古ハハニナカクノゴトニ尚書人中ニ議

スベキ多シ大戴礼尚シカリ并ニ老子莊子列子管子ノルイ同シ何  
トモ心得ザルヲシマツ老子ニテ一二ヲ挙ルニ伊藤氏曰老子曰  
將欲歛之必固張之將欲弱之必固強之將欲廢之必固興之將欲  
奪之必固與之コレ蘇秦張儀之功利ノ術常ニコレニ依ルニ自然自  
化ノ説ト相及スルヲ甚シ又曰連称仁義論語所無始見於孟子  
及天傳而此書屢曰道德仁義仁義ノ下經論ニ述ブコノ孰字  
アレバ孟子以後ノ書ナルヲシルベシ又曰將軍之称亦古所無而  
曰偏將軍上將軍又立天子遣三公及以正治國以奇治兵夫古無  
三公之名曰三事也奇正固非春秋間之語而孫吳常言兩ノ  
余名論アレバ本書ニユヅリテコレニシルサズ大抵秦火ニカリタル

書ハラク後世ノ擬作トナルニカレバ漢代ノ書也論孟ノ幸ニシテ  
存スルハ天下ノ幸甚コノ上ヤアルベキソノ余ハウタガフベキ多シト  
スベシ

復軒先生曰老子ソノ久ノ有無ヲヒテ論セス或曰易ノ昔ヲ得  
タリトシカルニ易ノ書タルソノ本字ハナシトイヘ凡九六ト称  
シテヨリク陰陽ヲ主トス天下万物陰陽ノ外ニアラザルヲ  
以テソノ余剛柔中正吉凶悔吝ミナ陰陽ノニニシテミ  
ナソノ時所位ニカナフヲ至ラザル処ナシニカルニ老子ノ書  
ハソノ章句ミナ陰柔ニシテ乾ノ切ナクスベテ坤徳ナリ一  
ヲ以テ云ヘバ欲奪之固ヨリ予之以徳報怨之類ナリコレ

ヲ權謀奸智ト云ハ誤リ也ニナ坤陽柔順ヲ以テ云一部ノ老子ニナ  
シカリ蓋ソノ人トナリ善柔ニノ謙讓ニアマリ天下ノト過名ヲ  
抑ヘ不足ヲ尊ブノ外ナキコトヲ工夫シテカキタルコトニテ其学  
カタシトス漢ノ竇太后コレヲ信スルハ婦人ノ柔順坤徳ヲ以  
テ守ルノ道ヲ得タリトイヘ凡コレヲ武帝ニス、ムルハアママリ  
ナリ老子ノ大柔大弱ノ徳ヲ以テアニ至大至剛天下ヲ治ムル  
コトノ乾徳ヲ窺フベケシヤ 莊子ノ書ト大ニ異ナリ老子ノ辭  
ハ確實柔順莊子ノ辭ハ浮虚放蕩混スベカラズ

列子ノ書ハ莊周ノ作ル所ト云列仙傳ニ鄭人名ハ禦寇トスレ凡列仙  
傳ノ妄説トルベカラズ張堪トイヘ凡ソノ出処ヲシラズ其コノ昏

張堪貴

ヲ得ルノミニシテソノ傳未ヲシラザルナリ列子ノ書佛語ニ似名  
コトヲ、シ和光同塵ハ老子ニ出死此生彼ハ列子ニ出ア、コノ二昏ウタ  
ガフベキカナソノ余孔子ノ語ヲ引ク多シト云凡ミナ妄誕ナリ  
ヨムベカラズ殊ニ凡ニ兼シテ天ニ昇ルト云人ナシゾ天下ヲ治ムルノ  
道ヲシラズ

莊子ノ書ハ高言 物ニヨソヘ又ハナキ人 重言 自言ニテハ人信セザルコトニ

危言 酒ノミハナシノゴトク面白ク トサマクニ云ナシテ鄙賤匹夫身

ニモ入ヤスキヤウニ書タルナリ畢竟ハ佛説トソノ意同ジステ

ニ史記ニ曰著書十万余言大抵率高言也作漁父盜竊眩筮

以詆訛孔子ノ徒以明老子之術畏墨虛元柔子ノ屬皆空語

無事實」カクノ如クナレバスベテ莊子ノ書ノ文辞ハ取トモ事實  
ハ取マジキニカク云タル司馬遷ステニ莊子ニ出タル許由老子ヲ信  
シテ傳ヲ立ル自カラ箕山ニ登リテト云ヘ凡其上ニ蓋シ有許由  
冢ト云ヘバ實ニ見ザルシルベシタトヒ實ニアリト云凡莊子  
ノ寓言ニヨリテ好事ノ者ノツクリタルモ亦シルベカラス伊勢原  
氏ノ寓言ニナラヒテ名所古迹ヲ作ルガゴトニ又子虛烏有ノ流ナリ  
東坡子魚弱候程子朱子ノ諸賢老列莊ノ三子ヲ評スル精シケレ  
バ今コ、ニ略スシカレ凡ソノ文辞モ亦取ルベキト多キニ人コ  
ニマドフナリ正道ハ入カタニ詭道入ヤスニ古今通蔽ナリユヘ天  
下万世ノ師トメ孔子ハ王号ヲ溢ルニ止リ老子ハ帝トナル何ゾソレ此

ノ如キヤシカルニ隱居放言ヲ志ス人ハコノ書ヲヨムトモシカラシ荀モ  
忠孝仁義ノ道ヲ行ヒ國家ヲ治ムル人ハ經書ニテ事足ルベシコノ  
書ハヨマズトモ可

揚子ノ我為ニシ墨氏ノカ子愛スル表裏ノ差ヒニテミナ道ニ背ク孟  
子コレヲヒラキテ廓如ナリシカルニ此学壯子ニ出ルナレバ其聖人ト端  
ヲ異ニスルトシルベシシカルニ莊子ヲ南華真經ト号シ列子ヲ冲  
虚至徳真經ト名ツクル後世ノ差謬ヲシルベシ荀子ノ性惡孟子ノ  
性善ヲ刺シルナリシカルニ孟子ノ善トサス性ト荀子ノ惡トサス性ト  
ソノサス処同ジカラズソノ標的同ジカラザル寸ハ善ト云凡惡ト云凡  
之次第ナルベシステニ告子ノサス処モ亦荀子ト同シ揚子ノ善惡混

諸子及雜各孔子ノ  
言語ト称スルモノハ  
ミナ莊子ノイハ元  
皇言ナリ

スルノ說見識ナキモノナラニカ多ク孟子ノ外ハミナ志情ノカ子テ  
云寸ハ或ハ惡ト云混スルト云トモ害ナカルベシ荀子ノ昏性惡ノ說ヲ  
除キテ見ル寸ハ夫莊列ノ諸子ヨリハ愈ルベシ說苑淮南子孔叢子  
楚辭ノ羨ハヨムトモ害ナカルベシシカレ凡孔子ノ言ヲ引モノ論  
孟中庸大学ニ出ルノ外ハミナ妄說ナリ決シテ信ズベカラズ漢土ハ上  
古ノ神聖ヨリ周公孔子顔曾思孟ノ大賢ヲシヘテ施シ玉フニ引カテ  
戰國ヨリ秦漢六朝唐五代マテノ儒者カハルく著ス処多シトイヘ  
凡ミナ妄誕杜撰ノ書ノミソノ字瓜ノ流弊ツイニ老莊ニ混濁セラ  
ル、トカナシムベシ漢魏叢書ノ目ヲ以テソノ久ナキヲミル經各ヲ注  
スル人、且歴史ヲ編ム人、ニラヒテハ孔安國鄭玄班固馬融蔡邕

何晏趙岐王弼韓愈ヨリシテ孔穎達ノ注疏ニ備ルシカレ凡猶  
未ダアリシヲ宋ノ世ニ至リテ二程周張歐蘇ノ大賢並ビ出テ終ニ  
朱先生ニ極リ六經ノ旨趣<sup>サシ</sup>然亦世ニ明カナリ又ソノ說四書五經  
ノ注解ヨリシテ小学近思錄二程全書語類語錄ノ書ニ詳カナ  
リ子カハクハ我子孫名モノ宋ノ諸賢ノ書ヲ習讀シテ後ニコノ  
書ヲ見テ足ラサルヲ補フベシ却ツテコノ各ヲ前ニヨミテ後ニ  
宋賢ノ書ヲ讀ム寸ハ矢フト多カルベシカヘス、モミタルトナカレ  
我邦ニテハ應神天皇ノ時ヨリ論語千字文渡リシヨシナレ凡中世  
ニ六徒ニ佛書詩書蒙求世說ノルイノミニテ忠孝仁義ノ学ハ  
ウトカリシナラニ日本紀ニ淮南子ノ語ヲ引カレシヲ以テミレバ

コレ亦古ヘヨリアリシナラニ原平ノ後ヨリ文学スクシテツイニ足  
利氏御ヲ失フニ至ル士大夫ニ学アル人ナシ字ヲシルモノ唯僧  
家ノミニシカルニ惶窩羅山ノ二先生出テ文学ハジメテヒラクソレヨ  
リシテコノ道ニ切アル人多シトイヘ凡山寄氏室氏熊氏中江氏菽  
生氏大宰氏新井氏貝原氏伊藤氏文子茂見氏等数輩相踵テ  
コレガ最タリ中ニモ室能氏貝原伊藤ノ諸先生著述モツトモラ  
クシテ経音ヲ羽翼ス當世ニアリテハ我門ノ諸先生ノ書ヲヨム  
ハ勿論ノヲナリカヘスモ門派ノ学流ニ及スルヲナカレ  
貞觀政要名臣言行録牧民忠告聖諭廣訓六諭衍義帝範臣  
軌等ノ書常ニ座右ニキテコレヲ見ルベシ自カラ得ル処アルベシ漢魏

ヨリ以下六朝ノ叢書ト実ニ霄壤ノ差ヒ同日ノ論ニアラズ唐宋ノ  
諸賢漢以来ヲ一新スト云ベシツクキテ情ニ至リ夷狄トイヘ凡康  
ノ德澤四海ニ及ブ聖諭ノ音イタルカナア、古ヘヨリ儒ヲ以テ自  
カラ居リ博学ヲ以テ人ニ称セラル、人ノ著ス処ノ書多クハ天下  
後世ヲ惑ハスノトニシテ世教トナル、少シ戦国ヨリ六朝ニ至ル  
ミナコレニ唐ヨリ以後ニ至リテ記誦詩章多ク王太子ノゴトキ  
僻学アリトイヘ凡ソノ余ハ大抵忠孝仁義ヲ宗トシ勸善懲  
惡ヲ心トスル賢者ヲ、シコレ天下ノ大幸ナリ苟モ学ニ志ス人  
コノ所ヲ踏損スル時ハ天下ノ廢物トナルヨリ考フベシ  
日本ノ書籍多シトイヘ凡世教ニ涉ルハナシ 長以降武徳



サカニノ文家モ亦少シトセズ大儒教輩著ス処ノ書スコブル  
孝弟仁義ヲトクコトヲ、シ中ニモ粟山先生ノ保建大記及ヒ  
見先生ノ靖献遺言コレガ冠タリ保建ハ保元建久ナリ王家ノヲト  
ヘハ保元ヲ元トス鳥羽帝位ヲ崇徳帝ニ譲ルソノ後養福門院  
近衛帝ヲ生ムツイニコレヲ天子トシ崇徳帝ヲシテ位ヲユヅラシ  
△時ニ今上三歳上皇二十三歳コレヨリ上皇イキドウリヲオコシ兄  
弟ノ争ヒ下ナリ又ツイニ今上崩ジテ又ソノ兄後白河帝立ツ上皇  
ノ為ニ赤弟ナリ関白忠道今上ヲ佐ケ弟頼長上皇ヲ輔ケ源平  
ノ武臣互ニ參リテ父子兄弟ニナ歎トナルツイニ上皇敗シテ讃岐  
ニ遷サシ玉フコレヲ保元ノ乱ト云コレヨリシテ又平治ノ乱ヲユルツ

イニ威權平氏ニウツリテ後白河帝ノ暗愚コレヲイカントモ云フ  
ナシユヘニ清盛人臣ノ位ヲキハフ權勢ヲモテアソグ諸國ノ源氏兵  
ヲオコシツイニ平氏ヲ滅シ安德帝入水ツノ弟後鳥羽帝ヲ立ツ  
後白河法皇ノ孫ナリソレヨリ義仲義経ノ艱難アリテツイニ威  
權頼朝ニ歸シ建久元年頼朝天下ノ總追捕使トナリテ永ク武家  
ノ有トスソノ元ハ鳥羽帝ノ徳ヲ失フヨリ真リテ後白河帝ノ柄ヲ失  
フニ成ルコトニシテ二千年ノ天下ツイニコ、ニヲヒテ変ズルモノナリ  
保元ノ大變上天子ヨリ文官武官互ニ骨肉ヲ以テ相爭奪ス忠孝  
仁義ノ道イツクニカ在ルヤ日本ノ歴史モトヨリ褒貶ノナシ  
コ、ニヲヒテ粟山氏モツバラ褒貶議評ヲ立テコレヲ與奪ス

ソノ意春秋ニナラヒテ乱臣賊子ヲシテ罪ヲ入ル、処無カラシム  
ルモノア、本朝ニテ未だノ書ナリヨムモノヨク玩索シテ考  
フル所アラバソレ危ハザルニ度幾カラニ靖献ハ高書ノ箕子自靖  
自献ニ先生ノ語ニ取ルニ三仁ハ孔子スデニコレヲ称シ天下ソノ仁  
ヲニル故ニコレヲ挙ゲズニテ屈原以後ノ八忠臣ヲ主トシ挙ゲテ  
ソノ余コレニ类ニタル忠臣ヲ褒シ又コレニ及ニタル賊臣ヲ貶シテ  
天下ノ忠臣忠ヲ正ス、私意ヲ以テセズ万世ニ傳ワテ議論ナカ  
ルベシトスイハユルソノ人ニハ屈平諸葛亮陶潛顏真卿文天祥  
謝枋得劉因方孝儒ノ八忠臣ニソノ余引テ推論スル忠臣數  
十人及賊モ亦數十人ア、浅見氏ノ骨髓コト書ニアリコト書ヲ

ヨミテ涕ヲヲトサヅル人ハソノ人必ズ不忠ナラン又コト書ヲ以テ  
ソノ浅見氏ノストナリヲ想像スベシコ、ニオヒテカ予栗山浅  
見ニ先生ノコトニ書ヲツ子ニ愛玩スル、久シクニ論コ、ニ及ブ  
モノナリ哉邦述作ニテヒテハ先コト書ヲ以テ最トシ續ヘニ自カ  
ヲ得ル処アラシ必シモコレヲ廢スベカラズユヘニ丁寧及復ス  
大学行義ノ書ハ上六經ヲ祖トシ歴史ニ正シテ事實ヲ踏ミ大  
學八條自ニ序テ致知格物正誠意脩身ヨリ天下国家ヲ  
治サシノ実行ヲシテ其次序節目丁寧云ハカリテ上天子ヨリ下  
庶人ニ至ルマテコト書ヲヨミテ奉、服膺シテ事ニコレニ從フ寸  
ハ天下ヲ治ムル、掌ヲ及スヨリ易カルベシカヘス、モ捨ツルナ

カレ後世ニ生レタル幸テカ、ル書アリ及ヒ貞觀政要ソノ余前  
ニ序列スル書ルイヲヨメバコレ已ヲ脩メ人ヲ治ムルノ楷榜要法ニ  
ナ詳密ニシテ師ナクシテ天下治マルベシ徒コレ學ブト學ガ  
ルトニアリ為ルト為ガルトニアルノミ古ヘノ疎ト今ノ密ト古ヘノ実  
ト今ノ虚ト並べ行ハルニ今ノ治法ハ能ワサルナリ盛饌ソナ  
ヘテ食ハズ雅樂奏シテキカズ美色並べテ視ズヲシムベキ  
カナ

塩鐵論ノ書ハ霸術ノ書ナリトイヘ凡事實ニアテ、行フニハカク  
アラテハ叶ハサルモノナリスデニ漢以後ノ政事ハ王道行フベ  
カラズ孟子王道ヲ説ク世人ニナ迂遠ニシテ事情ニ遠ルト

ス況ニ後世ヲ後世ニテハ徒ラニ王道ヲ説トモ徒善徒法ニナリテ行  
フアタハ大儒ヲ學ブモノミナ空論ヲ吐テ事實ニ施スアタ  
ハスユヘニ人道世道ト仁義ノ道ト別物トナル今ステニ事ヲ執  
リテ実行ニ施サントス今ノ俗ヲ脩ムベキノミ徒ニ王道ヲ用ヒテ  
人情服スベカラス行ハザレバ止ムベシ實ニ行フテ政ヲセントス今  
ノ俗ニヨリ今ノ法ヲ主本トシテ過ルヲ損ジ不及ヲ補ヒ絶名ヲ  
継キ廢シタルヲ興シ華美僭上ヲノゾキ文学武備ヲ脩メテ  
行フニ年ヲ以テシツイニ爪ヲ移シ俗ヲ易フベシカクアラザレバ  
能ハザルナリ俄ニ爪俗ヲ變セントシテハ人情ニサカヒテ却テ變  
害ヲ招クモノナリユヘニ儒者タルモノ常ニ腕ヲサスリテ天下掌

内ニシテ治ムシトノ、ニリテコレニ政ヲ授ケラル、寸ハ儀ニ  
爪俗ニアハザル新政ヲ行ヒテ害ヲマシクモノナリ 然レハ則俗ニ  
随ヒ古法ニヨリテヤウクニ善政ニ移シ行ニ過ザルナリ又人ヲ以テ  
人ヲ治ムルノ法其人アレバ政アガリ其人ナケレバ政廢ハ唯コレ治人  
アリテ治法ナキノミ無理ニ聖人ノ法制ニ從フニモ及バザルナリ聖人  
ノ法ヲ用トサレバカナハザルナリ其正心誠意脩身ノナリ天下国家ヲ  
治ムルノ法ハ時ニ從ヒテ良法イクラモアルベシ孔子モ顔閔子思ニ  
殷ノ轡ニリ復正ヲ行ヒ周冕ヲ服スベシト至フナラズヤ一概ニ古制  
ニ泥ムヘカラザルナリ漢土三代ノ時ト今ノ日本ト元来土地ノヘナル  
ナリ五百年年代後ルナリ三千年アニソノ法用エケンヤユヘニ史記ノ

八書ヨリシテ歴史ノ忠書ニナソノ世代ノ爪俗法制ヲ挙ケモ  
ノミナシカリ塩鐵論ノ如キハソノ時代ノ政法制度ヲ正シタルモノ  
ユニ三代ノ爪ニハ合ザルナリ後世ノ儒家ヲ以テ時政ヲ得失ヲ  
論スルヲモルニ其書ニ臨シテハ王道ノナリ一言モナクシテ唯ソ  
ノ時政ヲ挙ゲテカリ改革アリタキト云ニ過ギス大学或問政於  
経済録ノルイヲ以テミルベシミナカ、ルモノナリコレヲ以テソノ人ヲ非ル  
ベカラズ今王公ニ上疏スルニ遠ク三代ノ制度ヲ引テ論ヲ立ル寸ハモ用  
ラレザルナリ今近ク當世ノ俗ニヨラザレハアタハザルナリコトニ今ノ有サ  
マノ制度政法ヲノベテソノ弊害ヲ云立ルヲヤ當世ヲ以テセサレ  
バアルベカラザルナリ竹山先生ノ越公ニ上テ、草茅危言履

能凡物部大宰久  
ニ王道ヲ行ヒタキ  
ナリハヤクニテロモ論  
ニ後ニモアゲタ名今  
日ノ実行ニカ、リテ  
セニ方ナキナリ

軒先生ノアラマホニ如来先生ノ野荒ノルイニナコナリコレヲ以テ  
ヨク考フル寸ハ三代ノ治ハ三代ノ人ニ施スベシ六朝ノ治ハ六朝ノ人  
ニ施スベシ宋明ノ治ハ宋明ノ人ニ施スベシ我邦上古ノ治ハ上古ノ人ニ  
施シ中古ノ治ハ中古ノ人ニ施シ鎌倉室町織田豊臣ノ治ハ鎌倉  
室町織田豊臣ノ人ニ施シ當世ノ治ハ當世ノ人ニ施スベシ只メノ中  
ニ善ヲスメ惡ヲコレニ害ヲノゾキ利ヲ眞ニ俗草損益スルハ  
千世ト云フモミナソノ時所位ニ應シテ施スベキノミ然レバ則チ  
十世ノ後トイヘ凡明ラカニ知ルベキコナリイヅレニモ六経歴史ニ通シ  
仁義刑政ノ法ヲシラズシテ政ヲスルコトハ万民ヲ推テ溝中ニ陷ルモ  
ナリユヘニ必シモ書ヲ讀サル人ニ政ヲトラシムルコトナカレ

経書ハ已ラ脩メ人ヲ治ムルノ教ニシテ学者ノ第一ニ学ブベキハ  
勿論ナリコレス名ノ大道コノ外ニ何ヲカ求メニコレニ継モハ歴史  
ナリ歴史ヲ以テ古今ノ眞寔ヲ考メ善ハ眞リ惡ハ寔ニシテナコレ  
経各ノ教ヘテ事實ニ證スルナリ天文ハ天地ノ原ヲサグリスベシテ  
天下ノ国家ノ由テ来ル処ノ因ヲ知リテ身ヲ保ツ要ヲ考フベシ字  
学文章ハ用辨ノコトニ施ストイヘ凡大テイニテヨカルベシ書筆ハ一  
藝ナリ三ツノモノハ用ヲ辨ジテ足レリトスベシ遠キヲ致サバ泥  
ムベシ詩学ハ音楽ト同シク学者ノ慰弄ナリソノ業ニアラザレ  
バ泥マサルヲ壽トスベシ歌学モ亦同シ我邦古ヘヨリ歌ヲ以テ鑑  
紳家ノ学トシテ歌ニナツミテ事ヲ誤ルノコトヲシツイニ権柄武

家ニウツルモノハ歌学ソノ備ヲナスナリソレヨリ下リテ兵学等学  
医学ニ至リテハ一家ノ学ナレ凡中ニモ兵学ハ国家ノ廢<sup>ル</sup>ベカラサル  
モノカ射御ハ六藝ノ内トイヘ凡兵学ニ属スルモノナリ六藝ト云モノ  
本ヨリ小道ニシテ儒学ニ對スベキモノニアラズ文学中ニ属スルモ  
ノト云テシカラシソノ余ノ小道ハ尚サラノイナリ学者大道ヲ学ビ  
テ小道ニ戻ルベカラズ

近世大部ノ書ダシクニ出テ学者ノ迷乱ヲナスニカルニ大部ノ書ヨ  
ツクスベカラズ唯事實句章ヲ穿鑿スルニ備フルノニ大部ハ殊<sup>ニ</sup>杜  
撰<sup>ニ</sup>雜多ニ本ヨリ其処ナリ今ノ学者何ホド博識強記ストイヘ凡  
有<sup>ル</sup>ニ書目ダニモツクスベカラズ況ヤ浅学系<sup>ニ</sup>輕<sup>ニ</sup>ヤ



